

## 第3学年 音楽科 学習指導案

### 1 題材名 「本山囃子」をつくろう ～ちいきにつたわる音楽でつながろう～

使用教材	Scratch
利用機器	Scratch 3.0、タブレット型端末

### 2 題材について

#### (1) 題材の目標

日本の楽器の音色やリズムなどの曲想及びその変化に気付き、即興的にリズムや音を選択したり、組み合わせたりして表現することができる。(知識及び技能)

日本の楽器の音色やリズムが生み出す曲や、演奏のよさを見いだしながら祭り囃子を聴き、思いや意図をもってお囃子の旋律を創ることができる。(思考力・判断力・表現力等)

日本につたわる音楽や楽器への興味・関心を高め、進んでお囃子の旋律づくりに取り組むことができる。(学びに向かう力・人間性等)

#### (2) 学習内容

本学級の児童(男子8名、女子11名)は、歌唱や楽器の演奏の学習に意欲的に取り組むことができる。特に、3年生から始まったリコーダー演奏では、きれいな音が出せるように意欲的に練習に取り組む姿が見られた。しかし、楽器の演奏能力には個人差があり、中には演奏が苦手な児童や楽譜が読めない児童もいるが、クラスの中で教え合いながら技能を高めてきている。

本題材は、日本の楽器の音色やリズムに親しみ、よさを見出しながら、日本につたわる音楽への興味・関心を高め、即興的に旋律づくりに取り組ませることをねらいとしている。ここでは、お囃子の鑑賞と旋律を創る活動を通して、日本の音楽を身近に感じる大切となってくる。まずは、「祇園囃子」と「ねぶた囃子」、「神田囃子」の鑑賞を通して、日本の楽器の音色やリズムへの関心を高めていきたい。その上で、二分音符・四分音符・八分音符を使ったリズムづくりとラ・ド・レの3つの音を使って「本山囃子」の旋律を創る活動を通して、音楽づくりや日本の音楽に親しみをもたせていきたいと考える。

そこで、指導にあたっては、次の点に留意したい。

- 「祇園囃子」と「ねぶた囃子」の鑑賞について、聞こえた音をオノマトペで表現する活動を設定し、お囃子に親しみをもってリズムを表現し、よさを見出すことができるようにする。
- 「神田囃子」の歌唱に挑戦したり、机を太鼓に見立ててリズムを打ったりする活動を設定することで、お囃子の曲想やリズムの特徴を感じることができるようにする。
- 「本山囃子」の旋律を創る活動では「本山太鼓」のリズムに合わせて作成することで、日本につたわる音楽に親しみをもって活動ができるようにする。

#### (3) プログラミング体験の関連

本時では二分音符・四分音符・八分音符を使ってのリズムづくりとラ・ド・レの3つの音を使っての旋律づくりにおいて「Scratch」を活用する。「Scratch」は、プログラミングブロックをパズルのように組み合わせていくことによって簡単に旋律を創ることができ、またすぐに再生して聴くことができる。そのため、演奏が苦手な児童や楽譜が読めない児童でもドラッグ&ドロップなど簡単な操作のみで抵抗なく音楽づくりを楽しむことができる。また、打楽器などでリズム演奏を作成した際に、事前に作成した旋律と同時に再生することができるため、演奏能力に関わらず児童の思いを音楽づくりに表現することができる。そのため、意欲的に音楽づくりに取り組むことができると考える。

#### (4) 指導計画(全7時間)

- ① 「祇園囃子」と「ねぶた囃子」の特徴を感じ取って聴く。 1時間
- ② 「神田囃子」の特徴を感じ取って聴き、お囃子の歌唱とリズム打ちを行う。 2時間
- ③ 自分たちのオリジナル「本山囃子」を創る。 (本時3/4時間)

### 3 本時の指導

(1) 本時の目標

Scratch を使い、3つの音を組み合わせ、イメージに沿ったお囃子の旋律を創ることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点 ○評価
導入	1 前時の学習（リズムづくり）を想起し、本時の課題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと理想のお囃子に近づけたいという思いを引き出すために、前時に作成した旋律と祇園囃子を比べさせる。</li> </ul>
	<p>もっとイメージどおりの「本山ばやし」をつくろう。</p>	
展開	2 作成したい「本山囃子」のイメージを確認し、ラ・ド・レを組み合わせ、旋律を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・音の上がり下がり</li> <li>・イメージに合った音階の組み合わせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いをもって旋律づくりに取り組むことができるように、前時に考えた創りたいお囃子のイメージを想起し、イメージに合わせた旋律の工夫を考える活動を設定する。</li> <li>・イメージに沿ったお囃子を創ることができるように、Scratch で演奏する楽器を選択させる。</li> </ul>
	3 〈個人→グループ〉 組み合わせ、Scratch でプログラムし、旋律を再生し改善点について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・音の上がり下がりによる旋律のイメージ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズにプログラムを作成できるように、Scratch 上の音階の番号を示しておく。</li> <li>・作成したいお囃子のイメージを意識して旋律を創ることができるように、ホワイトボードにイメージを書かせる。</li> <li>・リズムを意識しながら旋律を創ることができるように、本山太鼓の竹のリズムを常に流しておく。</li> </ul> <p>○作成したいお囃子のイメージに合わせて3つの音を組み合わせ、旋律を創ることができたか。(ワークシート、Scratch)</p>
	4 作成した旋律をグループでつなげて聴き合い、感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律づくりの工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや願いに沿った旋律づくりができるように、グループでお互いの旋律を聞き合い、再考させる。</li> <li>・視点をもって発表を聞くことができるように、曲のイメージと共にお囃子を発表するよう伝える。</li> </ul>
終末	5 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の学習につなげるために、工夫したことやもっとこうしたいという思いを振り返らせる。</li> <li>・次時は太鼓や鈴などの楽器の演奏を付け加えて各グループで「本山囃子」を完成させることを伝える。</li> </ul>